

IV AO入試 I (大学入試センター試験を課さないAO入試)

学部別募集要項細目

【地域教育文化学部】

1 募集人員

学科・コース名		募集人員
地域教育文化学科	文化創生コース	25人

2 趣旨

文化創生コースは、「安全かつ安心な生活」と「文化的に豊かな人生」を支え、地域の人々とともに、多様な地域課題の解決に取り組む実践的な人材の育成を目的として「地域課題解決のスペシャリスト」を養成します。

文化創生コースには、次の3つのプログラムを用意します。

- ①地域の健康を「こころ」と「からだ」の側面から科学的に分析し、支援できる人材を養成する「心身健康支援プログラム」
- ②地域住民が文化的に豊かな生活を構築するために、芸術的なスキルの実践を通じて貢献できる人材を養成する「芸術文化創生プログラム」
- ③大学院地域教育文化研究科文化創造専攻に進学することを前提に、6年一貫教育を行い、「音楽芸術」「造形芸術」「スポーツ科学」分野において、スキルの更なる向上及び地域創生に貢献するための専門知識を養う「チャレンジプログラム」

上記のようなコースの特色に鑑み、地域教育文化学部ではAO入試を導入しています。これは、従来の入学試験では推し量れないような資質や能力などを評価し、美術、音楽、スポーツの各領域で将来性豊かな人材の発掘を目指したものです。

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では実技検査（美術、音楽、スポーツから選択します。）及び面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では、地域教育文化学部で学びたい意欲と、そのために必要な実技の能力を、これまでの活動実績や成績などをもとに調査書、志望理由書及び自己PR書から判断します。

第2次選抜では、志願者本人に時間をかけて直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、文化創生コースの教育目標やアドミッション・ポリシーの理解度、目的意識、学習意欲等について評価します。また、実技検査（美術、音楽、スポーツから選択します。）を実施することにより、文化創生に関わる適性や実技の優れた能力等を測り、面接と合わせて多角的な観点から志願者の資質・能力と将来性を評価することとします。

3 出願資格

AO入試 I に出願できる者は、次のすべての要件を満たす者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者
 - (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
- なお、大学入試センター試験を免除します。

4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間

平成29年8月21日（月）から8月25日（金）まで

※持参・郵送ともに8月25日（金）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

（注）出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送期限を考慮して余裕をもって送付してください。

- (2) 出願書類の提出先

地域教育文化学部入試担当（6ページ参照）に提出してください。

5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、入学願書等の出願書類を一括し、本要項に添付の「出願書類提出用封筒」を使用して、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

なお、出願書類（調査書を除きます。）の用紙は、本要項に添付してあります。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書 写真票 受験票	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙を用い、所定欄に必要事項をみれなく記入してください。 ○ 「志願者の現住所」欄には、願書提出の日から平成30年3月31日（土）まで確実に郵便物を受け取ることのできる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を記入してください。 ○ 「写真票」の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。
調査書	○ 出身学校長が作成し、 厳封 してください。
志望理由書	○ 本要項に添付の所定の用紙により、 文化創生コースを志望する理由、入学した場合どのような勉強をしたいのかその理由 に分けて、各事項について <u>400字</u> 以内で記入してください。
自己PR書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙により、①特別活動（部活動）等で顕著な成績を収めた、②学校外の活動（音楽の場合はコンクール、オーディションを含む。）で表彰を受けた等、PR（ピーアール）したい内容を <u>800字</u>以内で記入してください。 ○ ①及び②については、これを証明する表彰状などのコピー（写）を添付してください。
添付資料	美術、音楽、スポーツのうち いずれかの分野を一つ選択して 資料を添付すること
A4判ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美術分野における過去の作品写真等をまとめたファイル（A4判ポートフォリオ）を別途梱包の上、山形大学地域教育文化学部入試担当まで、書留速達で提出してください（8月25日（金）必着）。 なお、梱包物に「ポートフォリオ在中」と朱書きしてください。映像作品等については5分以内にまとめたもの（DVD-R）を添付してください。 また、志願者本人が作成していることを証明する学校長等の証明書（様式任意）を添付してください。
CD-R 又はDVD-R、あるいは作曲作品（楽譜のコピー）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10分程度の演奏を録音（CD-R）又は録画したもの（DVD-R）、あるいは作曲作品（出願前2年以内に志願者本人が作曲した作品3点の手書きによる楽譜のコピー）を添付してください。 また、志願者本人が演奏、作曲していることを証明する学校長等の証明書（様式任意）を添付してください。
スポーツ活動に関する調査書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙（主な競技成績等を記入したもの）により、出身学校長等が作成したものを提出してください。 また、競技成績等については、証明できるもの（写し可）を添付してください。

出願書類	出願書類作成上の注意
山形大学入学試験検定料納付証明書	<p>○ 検定料 17,000 円</p> <p>1 払込期間：平成 29 年 8 月 14 日（月）から平成 29 年 8 月 25 日（金）まで</p> <p>2 払込方法</p> <p>(1) 本要項に添付の所定の「払込書【AO入試Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ用】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。 なお、ATM（現金自動預払機）は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。</p> <p>(2) 各票の※印欄に、志願者（本人）の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。</p> <p>(3) 「振替振込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。</p> <p>3 <u>ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。</u></p> <p>4 (1) 第 1 次選抜の不合格者には、検定料 17,000 円のうち 13,000 円を返還します。返還手続の詳細については、第 1 次選抜結果とともに通知します。</p> <p>(2) 既に払い込んだ検定料は、上記（1）に該当する他は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>① 検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。）</p> <p>② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合</p> <p>5 返還についてのお問い合わせは、山形大学地域教育文化学部入試担当にお願いします。 なお、申出期間は平成 30 年 3 月 30 日（金）までとします。</p>
ラベル票	○ 本要項に添付の「ラベル票」に郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、提出してください。
返信用封筒（受験票送付用）	○ 本要項に添付の所定の封筒（受験票送付用）に郵便番号・住所・氏名を記入し、362 円分の切手（速達）をはって提出してください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、出願書類を受理しないことがあります。
- 2 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 3 記入に当たってはボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。訂正する場合は、二重線で消し訂正印を押してください。
- 4 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍（日本国籍を有しない者は住民票）のとおりにしてください。

6 選抜方法等

(1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。 配点は次のとおりです。
	調査書、志望理由書及び自己PR書
	100 点
採点・評価基準	志望理由書では、本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また、自己PR書では、記載された活動履歴やPR（ピーアール）内容をもとに、本学で学ぶ意欲とそれに必要な実技の能力等について評価します。
合否判定基準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

(2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

なお、出願時に選択した分野ごとに「選抜方法」及び「採点・評価基準」が異なります。

選 抜 期 日	平成 29 年 9 月 21 日（木）～9 月 22 日（金）までの期間の本学部が指定する 1 日～2 日
時 間	調整の上決定
科 目 等	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）
選 抜 方 法	<p>実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）を行います。選択分野ごとの詳細は以下のとおりです。</p> <p>【美術】 実技検査では、30 分以内で素描の実技を行います。そのために必要な画材や道具は各自で準備してください。 また、面接（口頭試問を含みます。）では、出願書類及び添付資料（ポートフォリオを含みます。）をもとに、造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関する質問及び自身の造形実践や経験の内容、入学後の取り組み等を質問します。 なお、ポートフォリオに含まれる作品の実物を 2 点以上準備してください。映像作品等の場合、上映に必要な機材（プロジェクター、スクリーンは除く。）は各自で準備してください。</p> <p>【音楽】 実技検査では、声楽、ピアノ、管弦打楽器で受験する者は、第1次選抜で提出した CD-R 又は DVD-R の楽曲を 10 分程度演奏してください。ただし、ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏者を同伴してください。作曲で受験する者は、機能和声に基づく転調を含む和声のソプラノ・バス課題を課します（所要時間 60 分）。 なお、受験者全員にソルフェージュの試験を課します。 また、面接（口頭試問を含みます。）では、出願書類及び添付資料をもとに、音楽芸術に対する関心や基礎的な知識に関する質問及び自身の音楽実践や経験の内容、入学後の取り組み等を質問します。</p> <p>【スポーツ】 実技検査では、自身の専門とする競技種目における運動能力や技術（内容は第1次選抜合格時に示します。）について検査します。 また、面接（口頭試問を含みます。）では、出願書類及び添付資料をもとに、スポーツ、運動、身体等の基礎的な知識に関する質問及び自身の運動実践や経験の内容、入学後の取り組み等を質問します。</p>

	いずれの分野においても、配点は次のとおりです。
	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）
	100点
採点・評価基準	<p>選択分野ごとの詳細は以下のとおりです。</p> <p>【美術】 実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）は、美術に関わる基礎的能力（発想力、構成力、造形表現力）と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。</p> <p>【音楽】 実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）は、音楽に関わる基礎的能力（演奏能力、楽典の知識、ソルフェージュ能力）と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。</p> <p>【スポーツ】 実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）は、スポーツに関わる基礎的能力（スポーツ、運動、身体等の基礎知識、運動能力）と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。</p>
合否判定基準	<p>1 実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により合否を判定します。</p> <p>2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。</p>

- ◎ 地域教育文化学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。
第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

7 合格者の発表

- (1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 平成29年9月6日（水）11時（予定）	○ 合格者の発表は大学受験番号のみとし、地域教育文化学部掲示板に掲示します。
最終（第2次選抜）合格者発表 平成29年10月4日（水）11時（予定）	○ 本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。

(注) 1 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

- (2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続期間

平成29年12月4日（月）～12月8日（金）（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が平成29年12月8日（金）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

- (2) 入学金

入学手続の際に納付していただきます。

○入学金：282,000円

(3) 提出書類

入学手続きの際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。
詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※ 留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、平成 29 年 12 月 8 日（金）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、平成 30 年 2 月 14 日（水）までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額 535,800 円（予定額）

納付方法については、「年 1 回払い」、「年 2 回払い」、「年 10 回均等払い」、「年 10 回ボーナス併用払い」から選択できます。

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。
2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

【工学部フレックスコース】

1 募集人員

学科名	募集人員
システム創成工学科	5人

2 趣旨

システム創成工学科は、「自ら考え、手足を動かし、学ぶ」ことにより、企業内の技術的リーダーや起業家となるような独創的な「人財の育成」を教育目標に据えた新しい発想の学科です。

従来の工学系分野の枠にとらわれることなく、例えば機械工学とバイオ化学というように、複数の分野を学ぶことが可能となっています。そのことにより、学際的視野を持ち、ものづくりの基本を修得し、企業内での技術的貢献のみならず経営にも参画しうる「人財」を養成することを可能としています。

上記のようなコース・学科の教育目標に鑑み、これまでにない先進の入学選抜方式として訪問型AO入試を導入することとしました。これは、従来の入学試験では推し量れないような才能や能力などを多面的に評価し、将来性豊かな人材の発掘を目指したものです。

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では志願者の居住地（日本国内ならばどこでも）を本学部面接担当者が訪問して行う面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では高校における学習態度や工学部で学ぶために必要な基礎学力と意欲を、調査書、志望理由書及び自己PR書により判定します。

第2次選抜では志願者本人に時間をかけて直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、システム創成工学科の教育目標やアドミッション・ポリシーの理解度、目的意識、勉学意欲、技術者としての適性ならびに社会人基礎力と言われる「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」等、多角的な観点から志願者の能力と将来性を測ることとしています。

3 出願資格

AO入試Ⅰに出願できる者は、次のすべての要件を満たす者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成30年3月修了見込みの者
 - (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
- なお、大学入試センター試験を免除します。

4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間
平成29年8月9日（水）から8月18日（金）まで（土・日曜日、祝日を除きます。）
※持参・郵送ともに8月18日（金）まで（必着）
※8月11日（金）から8月16日（水）までは持参による出願はできません。
受付時間は、9時から16時30分までとします。
（注） 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送期限を考慮して余裕をもって送付してください。
- (2) 出願書類の提出先
工学部入試担当（6ページ参照）に提出してください。

5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、入学願書等の出願書類を一括し、本要項に添付の「出願書類提出用封筒」を使用して、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

なお、出願書類（調査書を除きます。）の用紙は、本要項に添付してあります。

出願書類	出願書類作成上の注意
入学願書 写真票 受験票	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙を用い、所定欄に必要事項をもれなく記入してください。 ○ 「志願者現住所」欄には、願書提出の日から平成30年3月31日（土）まで確実に郵便物を受け取ることのできる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を記入してください。 ○ 「写真票」の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。
調査書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出身学校長が作成し、厳封してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。 ※ 高等学校又は高等専門学校等における学習成績概評がA段階（全体の評定平均値が4.3以上）に属し、人物・学力ともに特に優秀であり学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書に㊤と標示することを希望します。 また、㊤標示を合否判定の資料としても使用します。
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙により、システム創成工学科を志望する理由、入学した場合どのような勉強をしたいのか分野名とその理由及び卒業後どのような職業に就きたいか（現時点）に分けて、各事項について <u>400字以内</u>で記入してください。
自己PR書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙により、①特別活動（部活動）等で顕著な成績を収めた、②学校外の活動で表彰を受けた、③通学距離が長いにもかかわらず、3年間休まずに徒歩で通学しながらも校内で上位の成績を維持した等、PR（ピーアール）したい内容を <u>800字以内</u>で記入してください。 ○ ①及び②については、これを証明する表彰状などのコピー（写）を添付してください。 また、③のような内容等については、学校長の証明書（様式任意）を添付してください。
山形大学入学試験検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 検定料 10,000円 1 払込期間：平成29年8月1日（火）から平成29年8月18日（金）まで 2 払込方法 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本要項に添付の所定の「払込書【AO入試I用（工学部フレックスコース）】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。 なお、ATM（現金自動預払機）は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。 (2) 各票の※印欄に、志願者（本人）の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。 (3) 「振替振込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。 3 ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「<u>山形大学入学試験検定料納付証明書</u>」を提出してください。 4 (1) 第1次選抜の不合格者には、検定料10,000円のうち7,800円を返還します。返還手続の詳細については、第1次選抜結果とともに通知します。

出願書類	出願書類作成上の注意
	<p>(2) 既に払い込んだ検定料は、上記(1)に該当する他は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>① 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。)</p> <p>② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合</p> <p>5 返還についてのお問い合わせは、山形大学工学部入試担当にお願いします。なお、申出期間は平成30年3月30日(金)までとします。</p>
ラベル票	○ 本要項に添付の「ラベル票」に郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、提出してください。
返信用封筒 (受験票送付用)	○ 本要項に添付の所定の封筒(受験票送付用)に郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手(速達)をはって提出してください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、出願書類を受理しないことがあります。
- 2 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 3 記入に当たってはボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。訂正する場合は、二重線で消し訂正印を押してください。
- 4 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍(日本国籍を有しない者は住民票)のとおりにしてください。

6 選抜方法等

(1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書を参考にし、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。配点は次のとおりです。		
	調査書	志望理由書	自己PR書
	20点	50点	30点
採点・評価基準	志望理由書では、自身の将来像が示され、本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また、自己PR書では、記載された活動履歴やPR(ピーアール)内容をもとに、主体性や実行力などの前に踏み出す力、あるいは既存の発想にとらわれない創造力や考え抜く力等について評価します。		
合否判定基準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

(2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	平成29年9月25日(月)～9月28日(木)までの期間の本学部が指定する1日
時 間	調整の上決定
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 口頭試問における出題範囲は次のとおりとします。 (試験日までには高等学校等で履修した分野から出題します。)
	出題範囲
選 抜 方 法	面接（口頭試問を含みます。）を1時間以上行います。 なお、面接（口頭試問を含みます。）では出願書類を参考にします。 配点は次のとおりです。
	面接（口頭試問を含みます。） 100点
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は、基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力などを総合して評価します。
合 否 判 定 基 準	1 面接（口頭試問を含みます。）の結果により合否を判定します。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。

◎ 第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

7 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 平成29年8月30日(水)11時(予定)	○ 合格者の発表は大学受験番号のみとし、工学部掲示板に掲示します。
最終(第2次選抜)合格者発表 平成29年10月5日(木)11時(予定)	○ 本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。

(注) 1 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

平成29年10月23日(月)～10月27日(金)(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が平成29年10月27日(金)までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

(2) 入学金

入学手続の際に納付していただきます。

○入学金：141,000円

(3) 提出書類

入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※ 留意事項(入学辞退について)

やむを得ず入学を辞退する場合には、平成29年10月27日(金)までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、平成30年2月14日(水)までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額267,900円(予定額)

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

10 入学前の指導

(1) 入学前教育について

本学部では、合格者に対し、入学後の学習が順調に進むように、学習教材を指定してeラーニングによる入学前教育を実施しています。

特に、数学、理科及び英語については、工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり、ここでのつまずきは、入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので、合格者全員が受講するようにしてください。

なお、費用に係る詳細は、合格通知書の送付時にお知らせします。

(2) 平成30年度大学入試センター試験自己採点結果の提出について

平成30年1月に実施される大学入試センター試験の下記指定科目について解答し、自己採点結果を工学部入試担当へ提出してください（大学入試センター試験の問題等は、インターネットや新聞等で入手できます。）。

大学入試センター試験の数学及び理科に関する指定科目については、高等学校の学習体系・進度に合わせ、1科目でも構いませんが、高等学校において学習している場合は、それぞれ2科目について自己採点し、その結果を提出してください。

教科	大学入試センター試験の指定科目
数 学	「数学Ⅰ，数学Ⅰ・Aから1」と「数学Ⅱ，数学Ⅱ・Bから1」の計2科目
理 科	物理，化学，生物から2科目
外 国 語	英語（リスニングを含みます。）